

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時	令和元年5月25日(土) 18:00~18:50
まちづくり協議会区域名	二見まちづくりの会
会場	二見生涯学習センター2階会議室
参加者数	31人



《質問・意見》

まち協のトップは自治会長ばかり。行政の2重構造ではないか。区長を辞めたい、(区の仕事で)忙殺されている。区長になりたい、というような人材育成の仕組みを作っていただきたい。市から色々依頼がある。自分も公務員であったが、現役時代より働かされている気がする。

《回答》【市長】

人口が減少してきて、地域のコミュニティ活動を従来の自治会のあり方でやっていくのが難しくなってきた。防災の助けあい、まつりなどの行事など。お木曳、お白石行事も、(奉曳団が)連合体であったり、新しく立ち上がったり人口構造の変化により変わってきている。自治会活動について市があまり口を挟むことはできないため、市が区長の人材育成を直接行うことはできないが、まち協が行うのであれば、予算化もできる。

民生委員もなり手がおらず、民生委員サポーター制度を作っている市もある。自治会の仕事が大変なのであれば、自治会で話し合ってもらおうとか、他市の自治会で仕事の軽減をしている先進事例があれば、資料の収集や、視察に行くのであれば、お手伝いできる。

《質問・意見》

民生委員の定年75歳制をどう考えているのか。市の資料には75歳以上も就任できると書かれているが、その法的根拠を教えてほしい。法的根拠はないはずである。持続可能な組織作りが必要であるので、なり手がいないので、区長と一緒に担当職員と一緒に民生委員の人材発掘のために歩いていただくなどしてほしい。年齢制限もどうするのか回答してほしい。

75歳以上といえば後期高齢者。後期高齢者が後期高齢者を見るというのも如何なものか。若返りができるよう、きちんと75歳未満で推薦してもらおうよう言っていただきたい。

この問題は民生委員のみならず、保護士、児童相談員、人権擁護委員にもあてはまる。法律を守るのは公務員の責務である。きちんと年齢制限を守って持続可能な社会をつくってほしい。区長のなり手はないようだが、民生委員はいつまでもやりたい方もいる。現役の区長で80代の方もいる。いつまでも健康なのは結構だが、いつまでもしがみついている

と組織が活性化しない。高齢化社会でますます民生委員が必要となる。持続可能な組織のために、よろしくお願ひしたい。

《回答》【市長】

(民生委員の定年について) 今法的根拠は持ち合わせていない。まずは、地域福祉が継続できる環境が大切。その上で年齢制限を考えていく。本来若い方で充足できればよいが、伊勢市で充足率は95%強。人が集まりにくい地域もあって、その辺を加味して考えていかなければならない。

民生委員の負担軽減をするサポート制度が必要。「生活サポートセンターあゆみ」の活動もその一環。年齢も大事だが、地域福祉の継続が一番大事。

《質問・意見》

市長肝いりのふるさと未来づくりだが、自治会でも分かりづらいとの声がある。それはさておき、(二見小学校と今一色小学校) 小学校は二見浦小学校に統合された。まち協の二見と今一色の統合に市も汗をかいて統合に向けた活動をしてほしい。

(まち協としての総意かどうかは、まち協の) 会長もいるので聞いてほしい。同じ気持ち。ただ、高城はどう思っているかは知らない。話し合いの場を持つことも含めて行司役を市に担ってほしい。高城は1つの区である。なにも大きくまとまらない。

《回答》【市長】

高城はどう思っているのか。統合は二見まち協全員の総意なのか。総意であれば動きやすい。(仲を取り持つとしても) 双方が統合してもいいという土壌ができてからの話である。片方の気持ちだけで押してもどうか。

《質問・意見》

公共施設の利用申請が2ヶ月前からしかできない。講演会を開催しようとする場合、講師を依頼するにはもっと前から頼む必要があるが、会場も決まらないのでは頼めない。条例で決まっているのなら条例を変えてくれといったら、担当の市職員が、「あなたも元行政にいたのなら、条例改正が大変なのは分かるでしょ。」と言った。総合計画にもあるが、市民が主体者ではないのか。私は条例を変えられない。変えるのは職員である。市の施設は市民が使用しやすい施設であるべきだ。この生涯学習センターも日曜日は休館である。市の職員はルールの上を進むのはうまいが、道を切り開く意識が薄い。何か言うと「難しいですわ」という言葉が返ってくる。自分が汗をかかずに人に押し付ける。我慢を強いる。

ただ、窓口対応は非常に丁寧である。

《質問・意見》

区長のなり手が無い。今は区長をしていないが、以前区長であった。総会(総連合自治会の総会?)に行くとも区長の仕事が多い。区長の手当てが少ないのではないかと。手当ては市と自治会から出ている。市から出る手当額をもっと上げてもらえないか。そうすればな

り手があるのでは。

このことは現役の区長からは言いにくいので私が申し上げた。市議会の本会議で市民が直接発言する機会はないのか。今回皆さんが難しい話をされているが、そういう話を市議会ですて貰ったらどうか。

《回答》【市長】

市議会のことは市議会で決めている。市議会議員の方に相談してみたらどうか。市と市議会は対等なので、市では決められない。

《質問・意見》

市町村合併前、御蔭、二見、小俣は子供会への支援があった。担当職員もいた。ところが旧伊勢市には子供会がないということで、支援がなくなった。三重県こども会連合会へも加盟していた。県下で伊勢市だけ加盟していない。

先日三重県こども会連合会の総会があったが、県の他の首長が出席している中で、伊勢市長だけ来ていない。市に窓口がないので呼んでいないとのこと。今、連合会には御蔭、二見、小俣だけで参加している。厚生などはまちづくり協議会の中で活動している。御蔭、二見、小俣で各々参加するとそれぞれに会費がかかる。今は自分が代表になって、それぞれの団体をまとめる事により、会費は1団体分である。まち協でもいろんな行事があるが、子供が参加しているから親、祖父母が参加するということもある。市が進めるまち協に、こども会代表として参加しているのに、市はこども会を守ってくれない。こども課はこども会のことは担当外。一度考えてほしい。

《回答》【市長】

市町村合併の際、調整項目を整理した。4市町村で調整した結果である。県とのパイプ役に市がなれるのか、いろいろ調べて検討させてもらう。